

〈社会科〉 3年

現在の分析

〈社会的事象への関心・意欲・態度〉

- ・大田区の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて興味や関心を持ち、意欲的に調べていた。

〈社会的な思考・判断・表現〉

- ・社会科見学や大田区の様子をまとめる「パンフレットづくり」を通して、土地利用の様子を地形的な条件や社会的な条件と関連付けて考え、地域の様子は場所によって違いがあることに気付く学習を行った。

〈観察・資料活用の技能〉

- ・地図や写真資料等を活用し必要な情報を集め、読み取る力を育成する指導を行った。
- ・導入時に、「わたしたちの大田区」の地図を活用して主な地図記号や四方位などを用い公共施設や交通の様子を白地図にまとめた。さらに、社会科見学に向けて埋め立て地や見学先について白地図にまとめた。

〈社会的事象についての知識・理解〉

- ・大田区内の他地域の様子を観察、調査、地図にまとめたりして、調べ 地域の様子は場所によって違いがあることをほぼ理解できた。
- ・地図記号や方位は、ほぼ理解しているが、継続した指導が必要である。

重点課題

〈社会的事象への関心・意欲・態度〉

- ・観察や見学、体験活動、調べ学習などに意欲的に取り組むが、資料の読み取りになると課題に取り組めない児童がいる。

〈社会的な思考・判断・表現〉

- ・社会的な事象は把握できるが、地形的な条件や社会的な条件、自分たちの生活と関連付けて考えるまでには至っていない状況が課題である。
- ・絵地図や写真など複数の資料から読み取ったことを組み合わせ、判断することが課題である。

〈観察・資料活用の技能〉

- ・地図記号や方位の知識をもとに、複数の資料を組み合わせることが課題である。
- ・資料から分かることを選ぶ問題に既習の知識を活用しての誤答が多いため、集中して問題を読み、問われていることが何か把握する力をつけていく必要がある。

〈社会的事象についての知識・理解〉

- ・地図記号や方位などの知識は定着しているが、複数の知識を結び付けて考える力をつけていく必要がある。

授業改善策

〈社会的事象への関心・意欲・態度〉

- ・視聴覚教材を活用して学習内容に関する理解を図り、課題に関する関心を高める。
- ・明確な課題を持ち、それぞれの調べ方の特徴を踏まえ、多様な方法で調べる機会を増やす。
- ・体験的な学習や施設見学の機会を多く設定し学習意欲を高める工夫をする。また、上記の活動を通して社会的な事象を自分たちの生活と密接にかかわる課題としてとらえるようにする。

〈社会的な思考・判断・表現〉

- ・調べ学習時に視点を明確にし、分かったことや事実を関連付けて説明できるようにする。
- ・意見交流を通して、多様な見方・考え方があることに気付き、考えを広げ、深める機会を設ける。
- ・キーワードを活用して、学習の振り返りを行い、自分で考えを整理して表現する機会を増やす。

〈観察・資料活用の技能〉

- ・単元のまとめに新聞やパンフレットを作成する活動を取り入れる。その際、資料選択時の根拠と表現した文章がかみ合っているか見直す場面を取り入れる。
- ・他教科と関連を図り、表やグラフを見るポイント（表題・単位や数値・全体の特徴など）を示し、情報を正しく読み取る活動を継続して取り入れる。
- ・資料から読み取ったことを箇条書きにし、意見交流を通して多様な見方・考え方を知る。

〈社会的事象についての知識・理解〉

- ・社会的な事象とそれにかかわる人々の工夫や努力が分かるように、諸施設の見学などの学習活動を意図的に取り入れる。
- ・郷土博物館が近くにあるという環境を生かして、知識を広めるよう促す。
- ・地図や地図記号に関わる指導を継続して行い、地図記号や方位の知識の定着を図る。
- ・時期の区分について、昭和、平成、令和など元号を用いた言い表し方を取り上げる。（新指導要領）
- ・身につけさせたい社会科用語を提示し、意味を指導する。その用語について説明あるいは、その用語を用いて学習のまとめを行う活動を日常化とし、知識の定着を図る。

〈社会科〉 3年

★社会科 3年のみ本年度より新学習指導要領の全面实施に伴い、指導内容は大幅に変更されている。1学期「わたしたちの大田区」では、従来の地域のまちたんけんは、なくなり都内における区の位置や大田区の様子を捉え、場所による違いを考え学習することになった。

さらに、3学期の「大田区のうつりかわり」も従来は昔の道具調べや生活の変化に重点を置かれていたが、今年度から「大田区のうつりかわり」を明確な視点をもとに学習する。その視点は、1学期に学習した「わたしたちの大田区」の視点と関連している。視点は人口・土地利用・交通・学校・区役所・道具・生活である。

さらに、初めての歴史単元であり、元号「明治・大正・昭和・平成・令和」